

地域公共交通支援システムの改善ツールの開発と提案 ～コロナ禍におけるバスの利用促進～

1 概要

コミュニティバス等の利用実績を定量的にモニタリングしながら、利用者に便利で安心していただける運行情報の提供をDXで実現する。

コミュニティバス等を対象とした
乗降カウントシステム

PPomsys (ポムシス)

新庄市様及び山交バス(株)新庄営業所様の協力を得て車庫にて撮影

2 背景・目的

地域公共交通において、利用者の利便性向上の観点からデマンド型システムやバスロケーションシステムなどが普及してきた。また、地域公共交通を担う事業者においても、システム導入で効率的な業務を可能とし、より安全な運行環境を享受することが求められる。一方で、実乗車人数の把握が地域公共交通の運営において重要視されているものの、把握には運転者に過度な負担が伴うものであることから、その改善を目的とする。



交通事業者が計測する利用実績について、**手書での記録**やExcelシートへの**データ化の手間**を軽減する



利用実績を基に、定期的に行政職員が**整理・集計**している**資料作成の労力**を削減する



withコロナ時代に対応し、バス車内の3密を回避し、**利用者の不安**を解消し利用促進に貢献する



運行の安全性向上・
職員の生産性向上



職員の業務効率化・
情報伝達のスピードUP



バスの混雑緩和・
分散利用

3 プロジェクトの内容 ※イメージのため実際の画面とは異なります。

1 ドライバーがタブレットをタップするだけでサーバー上に乗降客数が蓄積！

2 蓄積したデータから車内の乗車人数を計算し、バスロケーションシステムで混雑状況をリアルタイムに提供！

3 自治体や交通事業者などで蓄積されたデータをスムーズに共有！
出力したEXCELデータを路線の分析・改善などに活用することが可能！

利用者画面



・バスの接近情報と、車内の混雑情報の2つの情報がリアルタイムで分かる

バスアイコンをクリックすると、
バスの混雑状況・運行状況を表示



座れます

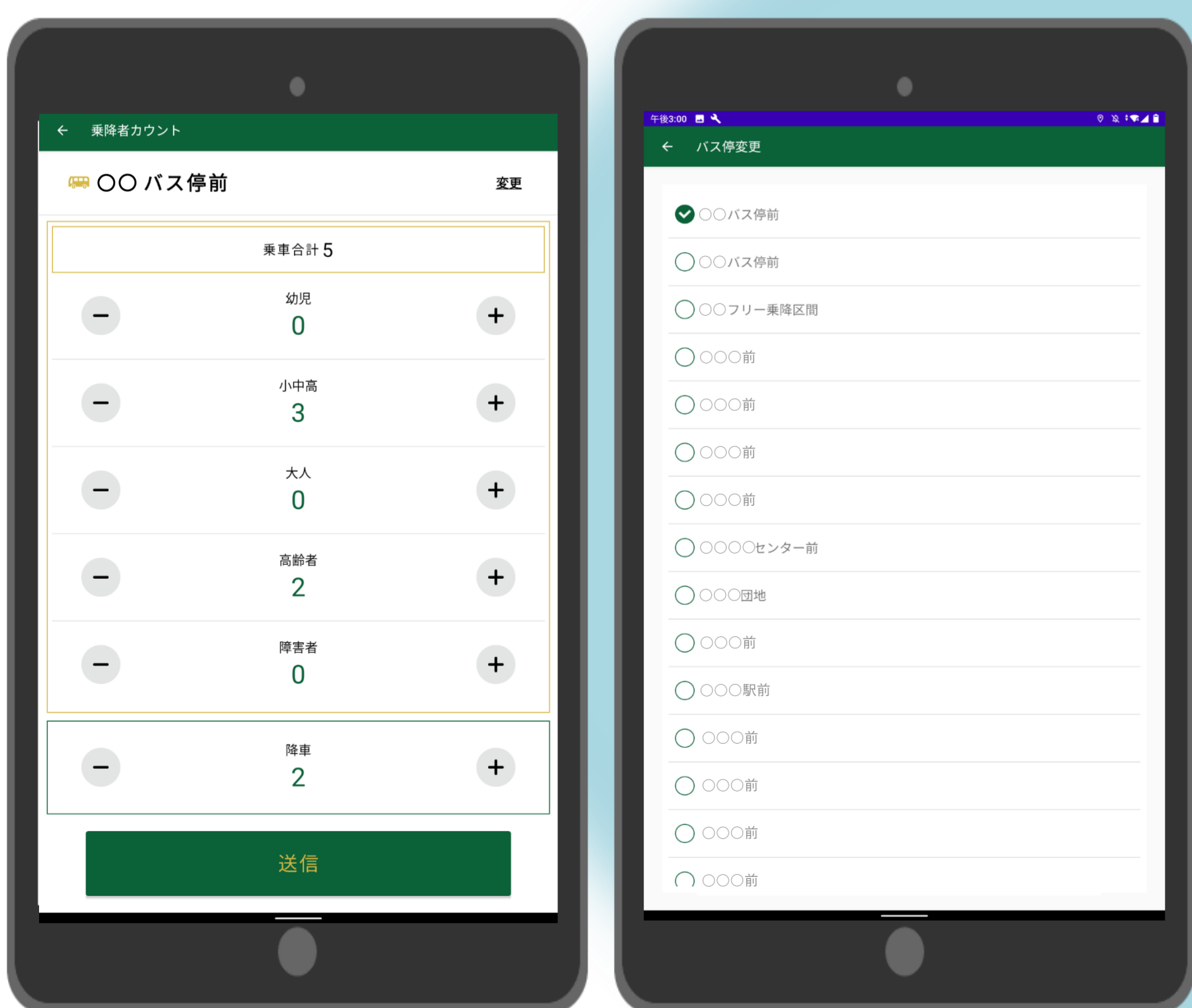


立って乗車できます



非常に混んでいます

車載アプリ



- ・バス停に停車すると端末のGPS情報を基に、バス停を自動認識し、カウント画面に自動切り替え
- ・ドライバーは乗降人数分、端末をタップして「送信」ボタンを押すだけ
- ・通過したバス停を手動で選択すれば、後で入力・修正も可能

サーバー



管理者画面



- ・指定の日にかや便の利用実績を、サーバーからダウンロード可能 (EXCELデータ)
- ・交通事業者は運賃収入を確認しながら、乗降実績の修正が可能

4 今後の活用に向けて

「PPomsys」の導入により、バス運行の円滑化やバス業務の効率化が期待される。また、再編検討に必要なデータを簡易的に収集することで、地域にとってより良い地域公共交通の実現に寄与するものとする。(株)ケー・シー・エスは、山形県新庄市様及び山交バス(株)新庄営業所様の協力を得つつ、システムの機能性や車載アプリの操作性などを検証していく。

【お問合せ】

(株)ケー・シー・エス
東北支社

TEL : 022-224-1591

FAX : 022-264-4713

